

議案第 17 号

令和 4 年度以降に中学校で使用する社会（歴史的分野）の教科用図書の採択替えについて

上記の議案を提出する。

令和 3 年 7 月 14 日

鳥栖市教育委員会
教育長 天野 昌明

（提案理由）

令和 4 年度以降に中学校で使用する社会（歴史的分野）の教科用図書の採択替えについて、本市における方針を定める必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第 2 条第 1 項第 16 号の規定によりこの案を提出する。

議案第17号 資料

令和4年度以降に鳥栖市内中学校において使用する社会（歴史的分野）教科用図書の採択について

1 研究委員会への調査・研究依頼内容

- ・新たに発行されることとなった自由社の「新しい歴史教科書」を含め、社会（歴史的分野）の教科書について採択替えが可能であるが、令和4年度以降に使用する教科書について、当該教科書も含めどの教科書が最も適しているかを検討してほしい。
ただし、現在使用している教科書（東京書籍「新しい社会 歴史」）は、最も適している教科書として令和2年度に採択された教科書であるため、当該教科書と現在使用している教科書の比較により検討することとする。

【令和3年度使用 中学校教科用図書の採択及び採択理由（社会「歴史的分野」）】

各ページには基礎的な知識・技能を習得させる「スキル・アップ」を充実させ、資料の読み取りやまとめ方、集め方等、学習に必要な技能を定着できるようにしている。
学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、「思考力・判断力・表現力」を育てる発問が用意されている。

2 調査・研究方法

- ・各学校代表者1名及び鳥栖市教育委員会指導主事1名の計5名からなる研究委員会を設置して、調査・研究を実施。研究委員会は2回実施。

3 調査結果

- ・市内中学校4校：現在使用している教科書が最も適している。（採択替えを希望しない）

4 主な理由

【内容に関すること】

- ・上記採択理由の他、小学校での既習事項が把握しやすくなるような工夫がなされており、スムーズに中学校に移行できるようになっている。当該教科書も同様に工夫がなされているが、現在使用している教科書は、年表が配置され、時代の把握が、よりしやすくなっている。
- ・グラフや地図がカラーユニバーサルデザインに対応している。また、全ての文字に、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。

【内容以外に関すること】

- ・現在使用の指導者用デジタル教科書は、学習の流れに沿ってコンテンツが充実しており、言語活動を活性化させる動画や学習ツールが効果的に設定されている。一方、当該教科書は指導者用デジタル教科書がない。
- ・採択替えになった場合、現在使用の教科書に関連する副教材を採用している学校が多く、資料集やワークとの関連が薄くなってしまい、使いづらさが予想される。
- ・すでに決定された教科書を軸に見通しを持って年間計画を立てたり、単元計画を立てたりしている担当者も多い。新たな混乱を招かないためにも、現状を維持する形がいいと考える。
- ・デジタル教科書の購入・更新の対応ができない。